

湧水

仙北市立神代中学校

学校報

NO. 19

平成30年11月27日発行

〇楽しませてくれた花壇の花にもお別れ

◆豊かな体験 【VoL.3 初冬編】



〇「第2回生徒総会」(11/20)

新会長「T.」丸の出航です。サポートする各大臣(専門委員長)もすばらしい顔ぶれで、きつこのメンバーなら「新しい神中生徒会活動をつくってくれるに違いない」と思わずにおれません。

各専門委員会には、「あたりまえ力」で日々の確かな活動をお願いしたいと思ひますし、執行部にはその「企画力」に期待します。神中のよさの再確認をしつつ、

神中がもっとよく・楽しく・快適になるために必要なポイントを絞り、具体的なアクションを起こしてほしいと切に願っています。総会での活発なやりとりから、期待が大きく膨らみました。さあ、みなさんの知恵や努力、そして「創造力」を發揮して、新しい神中をつくっていきましょう!! 主役は皆さん一トーンなのでから……。



〇「3年保育学習」(11/14) 於: 神代こども園



普段見ることのできないそれはそれは穏やかな表情です。大きなお兄ちゃんややさしいお姉さんに、無心で抱きついてくる園児達に神中生もはじめはたじろじろでしたが、徐々に扱にも慣れ、よき遊び相手になってくれました。この世には自分よりわがままで、かわいい存在があることに気付かされるよい機会となったようです。それにしては神中生は「根っからやさしいなあ〜」ホント



〇君たちにもこんな時期があったんですよ メンケー

◆「関係力」を育てたい !!

現代の子どもに最も必要とされる「生きる力」のひとつに、「関係力」があると感じています。しかしながら、少子化やメディア等の発達により、体験を通じた、人や自然との関わりがますます少なくなっているのが現状です。人は本来、他人や自然との関わりを通して、豊かな徳性を育んで行く動物のはずです。人的には、他者に関心をもち、他者との違いを認め、他者の良さを感じ、自分の中に取り入れることができるような豊かな心をもつことが大切だとされています。



そのためにも、相手の立場に立ち、感情や経験を共有することができる「共感的に理解する力」を育むことが肝要なのではないでしょうか。分かりやすくは「他者にとって嬉しいこと、いやなことや苦しいことを理解する力」と言い換えることができるでしょう。難しい時代だからこそ、学校・家庭が連携し、その「関係力」の育成を期して参りましょう。 ※写真は「関係力が豊かな」本校生徒職員です。

◆ 神中の表現者たちVOL.1 第50回大曲仙北児童生徒美術展出品

『12月1日(土)~2日(日) 会場:大曲交流センター』

本校を代表して次の皆さんの作品を出品いたします。

共同制作(自由部門)の迫力と芸術性に自信あり。是非ご覧ください!!



平面部門

1年 S.さん S.さん S.さん
3年 S.さん F.さん H.さん

立体部門

2年 K.さん M.さん M.さん
3年 A.さん A.さん O.さん

自由部門

2年: 共同制作 『形のおもしろさ ドキドキわくわく』
3年: 共同制作 『ふるさとの音』 6点



※VOL.2として「児童生徒県南美術展(平福記念美術館主催)」への出品も予定しています。おってご紹介いたします。他の3年生共同制作3点はそちらに出品いたします。 表現活動でも、感覚のよさが光る神中生です。

活躍・・・仙北市民卓球大会準優勝

若美走り納め駅伝競争大会準優勝

2年 K.さん

野球部 第2区区間賞 F.さん